

見附市告示第 1 0 8 号

地方公営企業法（昭和 27 年 法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項

の規定により見附市水道事業・下水道事業及び病院事業の業務を説

明する書類を別紙のとおり公表します。

令和 8 年 7 月 8 日

見附市長 稲 田 亮

見附市水道事業業務状況報告書
(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

1 事業の概況

当期も市民生活に不可欠な水道水を安定供給するとともに、事業の健全経営に努めてまいりました。

当期の有収水量は2,769,939m³で、前年度同期の2,807,120m³から37,181m³減少しました。給水収益(税抜き)は421,250,875円で、前年度同期の439,144,660円から17,893,785円減少しました。市内事業者を対象に令和7年10月請求分から令和8年3月請求分の水道基本料金の減免を行ったことや、令和8年1月の上北谷地域の断水による対象住民に対する水道基本料金の減免を行ったことが影響し、給水収益が減少しています。

当期の施設・設備の維持整備は下表のとおりです。

工事の別	事 由	件 数	工事費
建設工事	需要家申請による配水管布設工事	1件	2,834千円
改良工事	信濃川取水場 導水ポンプ3号吐出弁保温設置工事	1件	583千円
	水道山配水池 青木系配水池水位計更新工事	1件	2,530千円
	浄水場外施設LED照明器具更新工事	1件	1,161千円
	老朽による配水管布設替工事	1件	26,181千円
	需要家申請による配水管布設替工事	1件	3,615千円
	物件移転依頼による消火栓布設替工事	1件	1,903千円
設 備	水道メータ取付	一式	881千円
	一般事務用パソコン等9台他一式 購入	一式	1,137千円
保存工事	配水施設の保存工事	2件	780千円
	仮配管撤去	1件	2,231千円

今後も更なる企業努力を図り、安定供給と市民サービスの向上に努めます。

2 工 事

(1) 建設工事の概況

(ア) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
22	配水管布設及び給水管取付替工事	HPPE φ 50L=45.4	円 2,833,600	長岡市猫興野
計			2,833,600	

(2) 改良工事の概況

(ア) 取水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
設35	信濃川取水場 導水ポンプ3号吐出弁保温設置工事	一式	円 583,000	長岡市川袋町
計			583,000	

(イ) 浄水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
設27	水道山配水池 青木系配水池水位計更新工事	一式	円 2,530,000	嶺崎2丁目
設44	浄水場外施設LED照明器具更新工事	一式	1,160,500	嶺崎2丁目外
計			3,690,500	

(ウ) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
19	配水管布設替工事	HPPE φ 100L=60.6	円 12,205,600	釈迦塚町
		NCP φ 100L=33.9	13,975,500	釈迦塚町
20	配水管布設替及び給水管取付替工事	HPPE φ 50L=48.6	3,614,600	学校町1丁目
21	消火栓布設替工事	地上式単口1基	1,903,000	月見台1丁目
計			31,698,700	

(3) 設備等の概況

内 容	金 額	備 考
水道メーター取付	円 880,600	
一般事務用パソコン等9台他一式 購入	1,136,960	
計	2,017,560	

(4) 保存工事の概況

(ア) 配水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	施工場所
20	配水管布設替及び給水管取付替工事	給水管取付替1箇所	円 185,900	学校町1丁目
22	配水管布設及び給水管取付替工事	給水管取付替1箇所	594,000	長岡市猫興野
19	配水管布設替工事	仮配管撤去	2,230,800	釈迦塚町
計			3,010,700	

3 業 務

(1) 業 務 量

事 項		令和7年度 (10月～3月)	令和6年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
当 期 取 水 量 (m ³)		3,196,215	3,194,143	2,072	100.1
当 期 配 水 量 (m ³)		3,203,424	3,221,355	△ 17,931	99.4
1 日 平 均 配 水 量 (m ³)		17,601	17,700	△ 99	99.4
当 期 末 給 水 栓 数 (栓)		20,111	20,137	△ 26	99.9
内 訳 (栓)	φ 13～25	19,830	19,847	△ 17	99.9
	φ 40～50	249	257	△ 8	96.9
	φ 75	28	28	0	100.0
	φ 100	4	5	△ 1	80.0
当 期 有 収 水 量 (m ³)		2,769,939	2,807,120	△ 37,181	98.7
内 訳 (m ³)	φ 13～25	2,269,868	2,291,439	△ 21,571	99.1
	φ 40～50	324,491	347,432	△ 22,941	93.4
	φ 75	162,765	154,989	7,776	105.0
	φ 100	12,815	13,260	△ 445	96.6
有 収 水 量 率 (%)		86.5	87.1	△ 0.6	99.3

(2) 予算執行状況

(ア) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	現計予算	収入額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 水道事業収益	1,303,400,000	650,806,505	49.9%	(うち仮受消費税
第1項 営業収益	1,008,526,000	492,586,201	48.8%	44,617,923 円)
第2項 営業外収益	294,774,000	154,973,004	52.6%	(うち仮受消費税
第3項 特別利益	100,000	3,247,300	3,247.3%	346,009 円)
				(うち仮受消費税
				0 円)

支 出

区 分	現計予算	支出額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 水道事業費	1,336,703,650	766,074,588	57.3%	(うち仮払消費税
第1項 営業費用	1,242,581,650	733,819,804	59.1%	29,919,627 円)
第2項 営業外費用	93,922,000	32,226,384	34.3%	(うち仮払消費税
第3項 特別損失	100,000	28,400	28.4%	369 円)
第4項 予備費	100,000	0	0.0%	(うち仮払消費税
				2,500 円)
				(確定消費税
				6,363,300 円)

(イ) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	現計予算	収入額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 資本的収入	466,000,000	231,867,474	49.8%	(うち仮受消費税 2,830,406 円)
第1項 企業債	399,300,000	200,000,000	50.1%	
第2項 負担金	18,000,000	0	0.0%	
第3項 補助金	48,700,000	31,867,474	65.4%	

支 出

区 分	現計予算	支出額	執行率	備 考
	円	円		
第1款 資本的支出	1,087,810,900	507,295,454	46.6%	(うち仮払消費税 33,065,138 円)
第1項 建設改良費	835,566,900	380,708,034	45.6%	
第2項 企業債償還金	252,244,000	126,587,420	50.1%	

(3) 財務諸表

(ア) 見附市水道事業損益計算書
(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

1 営業収益	円	円	円
(1) 給水収益	421,250,875		
(2) 受託工事収益	316,590		
(3) その他営業収益	<u>26,400,813</u>	447,968,278	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	226,956,643		
(2) 配水及び給水費	62,030,411		
(3) 受託工事費	290,000		
(4) 総係費	69,275,386		
(5) 減価償却費	324,046,999		
(6) 資産減耗費	21,300,738		
(7) その他営業費用	<u>177,753</u>	<u>704,077,930</u>	
営業損失			256,109,652
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	4,363,467		
(2) 補助金	15,578,755		
(3) 長期前受金戻入	125,603,135		
(4) 加入金	3,335,000		
(5) 雑収益	<u>5,788,022</u>	154,668,379	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	25,186,366		
(2) 雑支出	<u>1,242,443</u>	<u>26,428,809</u>	<u>128,239,570</u>
経常損失			127,870,082
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	1,800		
(2) 有価証券償還益	<u>3,245,500</u>	3,247,300	

6 特別損失	円	円	円
(1) 過年度損益修正損	<u>25,000</u>	<u>25,000</u>	<u>3,222,300</u>
当期純損失			124,647,782
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>140,410,447</u>
当期末処分利益剰余金			<u><u>15,762,665</u></u>

(イ) 見附市水道事業貸借対照表
(令和8年3月31日)

資 産 の 部				
1 固定資産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
ア 土地		220,693,904		
イ 建物	2,826,554,521			
減価償却累計額	<u>△ 310,302,205</u>	2,516,252,316		
ウ 構築物	19,674,603,797			
減価償却累計額	<u>△ 10,281,984,222</u>	9,392,619,575		
エ 機械及び装置	3,729,079,337			
減価償却累計額	<u>△ 1,165,719,266</u>	2,563,360,071		
オ 車両運搬具	28,768,779			
減価償却累計額	<u>△ 9,748,266</u>	19,020,513		
カ 工具器具及び備品	54,297,833			
減価償却累計額	<u>△ 41,232,360</u>	13,065,473		
キ 建設仮勘定		85,459,000		
有形固定資産合計			14,810,470,852	
(2) 無形固定資産				
ア 庁舎利用権			10,712,000	
(3) 投資その他の資産				
ア 投資有価証券			<u>1,148,546,000</u>	
固定資産合計				15,969,728,852
2 流動資産				
(1) 現金預金			2,918,436,510	
(2) 未収金		109,565,899		
貸倒引当金		<u>△ 743,191</u>	108,822,708	
(3) 有価証券			100,000,000	
(4) 貯蔵品			<u>14,160,189</u>	
流動資産合計				<u>3,141,419,407</u>
資産合計				<u><u>19,111,148,259</u></u>

負 債 の 部			
3 固定負債	円	円	円
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,112,819,200		
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	79,628,652		
固定負債合計			6,192,447,852
4 流動負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	284,158,528		
(2) 未払金	232,939,809		
(3) 引当金			
ア 賞与引当金	8,155,845		
(4) その他流動負債	2,161,242		
流動負債合計			527,415,424
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
ア 長期前受金	8,563,762,988		
収益化累計額	△ 3,913,706,534		
繰延収益合計			4,650,056,454
負債合計			11,369,919,730
資 本 の 部			
6 資本金			4,013,475,961
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	39,535,481		
(2) 利益剰余金			
ア 減債積立金	1,938,795,050		
イ 建設改良積立金	1,642,870,121		
ウ 当年度未処分利益剰余金	106,551,916		
利益剰余金合計		3,688,217,087	
剰余金合計			3,727,752,568
資本合計			7,741,228,529
負債資本合計			19,111,148,259

(4) 重要契約の要旨(2,000万円以上)

契約年月日	契約金額	契約の内容	契約の相手方
令和 7.10.30	円 28,411,900	水工第19号 配水管布設替工事	(有)葦沢工務店
8.3.26	33,000,000	水工第5号(令和8年度ゼロ市債) 配水管布設替工事	(株)清水配管
8.3.26	34,650,000	水工第6号(令和8年度ゼロ市債) 配水管布設替及び給水管取付替(その1)工事	(有)佐藤鉄工
8.3.26	29,260,000	水工第7号(令和8年度ゼロ市債) 配水管布設替及び給水管取付替(その2)工事	旭設備工業(株)
8.3.26	56,100,000	水工第8号(令和8年度ゼロ市債) 配水管布設替及び給水管取付替、消火栓布設替工事	(株)山田工機

(5) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
	円	円	円	円
財 務 省	5,301,983,570	0	87,951,465	5,214,032,105
地方公共団体金融機構	1,021,581,578	200,000,000	38,635,955	1,182,945,623
計	6,323,565,148	200,000,000	126,587,420	6,396,977,728

イ 一時借入金

該当事項なし

(6) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

令和8年度水道事業会計予算の概要

令和8年度 見附市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度見附市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数	20,303 戸
(2) 年間総給水量	6,491,910 m ³
(3) 一日平均給水量	17,786 m ³
(4) 主要な建設改良事業	配水管布設等建設工事 22,000 千円
	配水管布設替等改良工事 502,977 千円

(収益的收入及び支出)

第3条 収益的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 水道事業収益	1,416,000 千円	
第1項 営業収益	1,136,767 千円	
第2項 営業外収益	276,133 千円	
第3項 特別利益	3,100 千円	
	支	出
第1款 水道事業費用	1,385,000 千円	
第1項 営業費用	1,304,734 千円	
第2項 営業外費用	80,066 千円	
第3項 特別損失	100 千円	
第4項 予備費	100 千円	

(資本的收入及び支出)

第4条 資本的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額560,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額44,848千円、当年度分損益勘定留保資金413,364千円及び減債積立金101,788千円で補てんするものとする。)。

	収	入
第1款 資本的收入	450,000 千円	
第1項 企業債	396,700 千円	
第2項 補助金	3,601 千円	
第3項 負担金	49,699 千円	
	支	出
第1款 資本的支出	1,010,000 千円	
第1項 建設改良費	725,841 千円	
第2項 企業債償還金	284,159 千円	

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限度額(千円)
料金システム保守業務委託契約	令和8年度から 令和13年度まで	18,755
コンビニエンスストア等収納代行 委託契約	令和8年度から 令和13年度まで	18,691

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
配水管布設替事業	396,700	普通貸借 又は 証券発行	年5.0%以内 (ただし、利率見 直し方式で借り 入れる政府資金 及び地方公共団 体金融機構資金 について、利率 の見直しを行っ た後において は、当該見直し 後の利率)	政府資金及び地方公共 団体金融機構資金につい ては、その融通条件により、 銀行その他の資金につい ては、その融通条件又は 協定による。 ただし、企業財政等の都 合により繰上償還し、又は 償還年限を短縮し、若しく は低利債への借換えがで きるものとする。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、100,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 各項に計上した予定額に過不足を生じた場合における、同一款内でこれらの経費の
各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額をこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 122,113 千円

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、6,000千円と定める。

経営方針

1 基本計画

- (1) 水道事業の健全経営を維持し、清浄低廉な水を豊富に供給すること。
(2) 老朽配水管の布設替、配水管網の整備等建設改良に努めること。

見 附 市 下 水 道 事 業 業 務 状 況 報 告 書

(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

1 事業の概況

当期も快適な生活環境の確保のため、公共下水道事業では計画的に区域の整備を行いました。当年度末時点の面整備は、認可区域面積1,213.2haのうち958.9haが完了し、面整備進捗率は79.0%、普及率は99.7%となりました。また、農業集落排水事業の面整備は平成16年度ですべて完了しており、南部地区47ha、上北谷地区168ha、合計215haの地区内すべての世帯で供用を開始しています。

当期の有収水量は公共下水道事業が1,712,824m³で前年度同期の1,728,079m³と比較して15,255m³の減少、農業集落排水事業が126,395m³で前年度同期の129,600m³と比較して3,205m³の減少となりました。当期の下水道使用料は293,328,480円で前年度同期の295,420,480円と比較して2,092,000円の減収、農業集落排水施設使用料は21,375,040円で前年度同期の21,878,400円と比較して503,360円の減収となりました。
(金額は税抜き)。

当期の契約では、建設事業において汚水施設 10件 11,946千円、雨水施設 1件 7,290千円、改良工事においては汚水施設 15件 165,040千円、農集施設 1件 3,960千円、保存工事においては汚水施設 1件 10,670千円、雨水施設 2件 6,160千円の契約を行いました。

今後も更なる企業努力を図り、計画的な施設の維持管理と効率的な運営に努めてまいります。

2 工 事

(1) 建設工事の概況

ア 汚水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
下水単工第17号	本所処理分区汚水榦その14下水道新設工事	1箇所	1,243,000	本所1丁目
下水単工第18号	本所処理分区汚水榦その15下水道新設工事	1箇所	1,111,000	本所1丁目
下水単工第19号	葛巻処理分区汚水榦その16下水道新設工事	1箇所	1,023,000	葛巻1丁目
下水単工第21号	今町第2処理分汚水榦その17下水道新設工事	1箇所	1,001,000	今町4丁目
下水単工第22号	本所処理分区汚水榦その18下水道新設工事	1箇所	924,000	本所1丁目
下水単工第23号	今町第1処理分区汚水榦その19下水道新設工事	1箇所	1,661,000	今町7丁目
下水単工第24号	双葉処理分区汚水榦その20下水道新設工事	1箇所	1,188,000	緑町
下水単工第25号	中部処理分区汚水榦その21下水道新設工事	1箇所	968,000	新町2丁目
下水単工第26号	中部処理分区汚水榦その22下水道新設工事	1箇所	1,078,000	学校1丁目
下水単工第27号	本所処理分区汚水榦その23 下水道新設 工事	1箇所	1,749,000	柳橋町
	計		11,946,000	

イ 雨水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
(繰越)下水補工第12号	貝喰川右岸排水区476-1、476-2、476-3、477、478雨水渠整備(舗装復旧)工事	一式	7,289,700	市野坪町
	計		7,289,700	

(2) 改良工事の概況

ア 汚水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
			円	
(繰越)下水補工第13号	中部汚水幹線84ほか取付管(陶管)更新工事	一式	3,665,200	新町2丁目外
(繰越)下水補工第14号	見附処理区77,78取付管(陶管)更新工事	一式	9,043,100	南本町1丁目
(繰越)下水補工第15号	西部汚水幹線348,350,352取付管(陶管)更新工事	一式	4,187,700	新町3丁目
(繰越)下水補工第16号	中部処理分区76,77,80取付管(陶管)更新工事	一式	14,335,200	本町1丁目外
(繰越)下水補工第17号	中部処理分区140,141,145取付管(陶管)更新工事	一式	5,084,200	学校町1丁目
(繰越)下水補工第18号	見附処理分区75、76取付管(陶管)更新工事	一式	8,486,500	本町2丁目
(繰越)下水補工第19号	南部汚水幹線316-10ほか人孔蓋更新工事	一式	14,245,000	南本町3丁目外
(繰越)下水補工第20号	南部汚水幹線236-10ほか人孔蓋更新工事	一式	8,943,000	南本町3丁目外
(繰越)下水補工第21号	南部汚水幹線424-10ほか人孔蓋更新工事	一式	11,561,000	南本町3丁目外
(繰越)下水補工第22号	見附処理区380-10ほか人孔蓋更新工事	一式	8,679,000	南本町3丁目外
(繰越)下水補工第23号	見附処理分区244,244-2,257取付管(陶管)更新工事	一式	13,713,700	新町1丁目外
下水単工第16号	中部処理分区89,85不明水対策工事	一式	7,370,000	本町1丁目
下水単工第20号	双葉処理区ほかマンホールポンプ更新工事	3台	4,070,000	熱田町外
下水補工第7号	今町終末処理場電気計装設備更新	一式	36,520,000	今町7丁目
下水補工第8号	今町終末処理場塩素混和池耐震補強(その5)工事	一式	15,136,000	今町7丁目
	計		165,039,600	

イ 農集施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
下水単工第13号	見附南部地区No.8マンホールポンプ制御盤更新工事	3台	円 3,960,000	椿沢町
	計		3,960,000	

(3) 保存工事の概況

ア 汚水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
下水修工第3号	葛巻下水処理場 No.3 雨水ポンプ用エンジン分解修繕工事	一式	円 10,670,000	葛巻2丁目
	計		10,670,000	

イ 雨水施設

工事番号	工事名	施工内容	工事費	備考
下水修工第4号	本町4丁目除塵機監視通報装置設置工事	一式	円 1,870,000	本町4丁目
下水修工第5号	貝喰川排水区34-5,34-6側溝修繕工事	一式	4,290,000	新幸町
	計		6,160,000	

3 業 務

(1) 業 務 量

(ア) 公共下水道事業

事 項		令和7年度 (10月～3月)	令和6年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
現在最大 処理水量	ア 晴天時 (m ³ /日)	20,138	17,280	2,858	116.5
	イ 雨天時 (m ³ /日)	41,750	43,877	△ 2,127	95.2
現在晴天時 平均処理水量 (m ³ /日)		11,906	12,212	△ 306	97.5
当 期 総 処 理 水 量 (m ³)		6,925,625	6,823,774	101,851	101.5
内 訳	ア 汚 水 処 理 水 量 (m ³)	2,931,559	2,930,741	818	100.0
	イ 雨 水 処 理 水 量 (m ³)	504,752	369,093	135,659	136.8
当 期 有 収 水 量 (m ³)		1,712,824	1,728,079	△ 15,255	99.1
有 収 水 量 率 (%)		58.4	59.0	△ 0.6	99.0

(イ) 農業集落排水事業

事 項		令和7年度 (10月～3月)	令和6年度 (10月～3月)	比 較	
				増 減	比 率 (%)
現在最大 処理水量	ア 晴天時 (m ³ /日)	969	929	40	104.3
	イ 雨天時 (m ³ /日)	－	－	－	－
現在晴天時 平均処理水量 (m ³ /日)		730	742	△ 12	98.4
当 期 総 処 理 水 量 (m ³)		152,977	162,749	△ 9,772	94.0
内 訳	ア 汚 水 処 理 水 量 (m ³)	152,977	151,445	1,532	101.0
	イ 雨 水 処 理 水 量 (m ³)	－	－	－	－
当 期 有 収 水 量 (m ³)		126,395	129,600	△ 3,205	97.5
有 収 水 量 率 (%)		82.6	85.6	△ 3.0	96.5

(2) 予算執行状況

(ア)収益的收入及び支出

収 入

区 分	現 計 予 算	収 入 額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業収益	円 2,042,000,000	円 937,129,400	45.9%	(うち仮受消費税 31,472,977 円)
第1項 営業収益	981,106,000	457,980,579	46.7%	(うち仮受消費税 31,470,352 円)
第2項 営業外収益	1,060,794,000	479,148,821	45.2%	(うち仮受消費税 2,625 円)
第3項 特別利益	100,000	0	0.0%	(うち仮受消費税 0 円)

支 出

区 分	現 計 予 算	支 出 額	執 行 率	備 考
第1款 下水道事業費用	円 2,029,010,200	円 1,037,279,706	51.1%	(うち仮払消費税 35,247,604 円)
第1款 営業費用	1,886,478,200	962,156,531	51.0%	(うち仮払消費税 35,247,396 円)
第2款 営業外費用	142,332,000	75,123,175	52.8%	(うち仮払消費税 208 円)
第3款 特別損失	100,000	0	0.0%	(うち仮払消費税 105,800 円)
第4款 予備費	100,000	0	0.0%	(確定消費税 10,771,800 円)

(イ)資本的收入及び支出

収 入

区 分	現 計 予 算	収 入 額	執 行 率	備 考
第1款 資本的收入	円 1,135,981,400	円 739,802,570	65.1%	(うち仮受消費税 0 円)
第1項 企業債	753,300,000	496,900,000	66.0%	
第2項 他会計負担金	84,992,000	42,500,620	50.0%	
第3項 国庫補助金	293,981,400	199,219,750	67.8%	
第4項 負担金等	3,069,000	1,007,200	32.8%	
第5項 長期貸付金償還金	639,000	175,000	27.4%	
第6項 他会計補助金	0	109,995,392	—	

支 出

区 分	現 計 予 算	支 出 額	執 行 率	備 考
第1款 資本的支出	円 1,839,569,000	円 940,705,707	51.1%	(うち仮払消費税 38,593,190 円)
第1項 建設改良費	895,108,000	450,938,026	50.4%	(うち仮払消費税 38,593,190 円)
第2項 企業債償還金	943,685,000	489,767,681	51.9%	
第3項 長期貸付金	776,000	0	0.0%	

(3)財 務 諸 表

(ア)見附市下水道事業損益計算書
(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	314,703,520		
ア 下水道使用料	293,328,480		
イ 農業集落排水施設 使用料	21,375,040		
(2) 雨水負担金	111,769,807		
(3) その他営業収益	36,900	426,510,227	
2 営業費用			
(1) 污水管渠費	57,499,589		
(2) 雨水管渠費	26,349,819		
(3) 農集管渠費	11,335,430		
(4) ポンプ場費	10,156,223		
(5) 葛巻処理場費	70,344,976		
(6) 今町処理場費	101,849,642		
(7) 南部処理場費	7,928,325		
(8) 上北谷処理場費	9,612,765		
(9) 総係費	71,449,679		
(10) 減価償却費	557,787,285		
(11) 資産減耗費	2,595,402		
(12) その他営業費用	1,489	926,910,624	
営業損失			500,400,397
3 営業外収益			
(1) 他会計補助金	△ 23,062,000		
(2) 国庫補助金	31,373,500		
(3) 他会計負担金	148,796,181		
(4) 長期前受金戻入	249,030,624		
(5) 元金償還に係る 長期前受金戻入	72,928,826		
(6) 雑収益	86,473	479,153,604	

	円	円	円
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	64,304,329		
(2) 雑支出	<u>13,573,168</u>	<u>77,877,497</u>	<u>401,276,107</u>
経常損失			99,124,290
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>38,559</u>	<u>38,559</u>	<u>38,559</u>
当期純損失			99,085,731
前年度未処理欠損金			0
当年度未処理欠損金			<u><u>99,085,731</u></u>

(イ) 令和7年度見附市下水道事業貸借対照表
(令和8年3月31日)

資 産 の 部			
	円	円	円
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土地		421,585,200	
イ 建物	1,134,465,457		
減価償却累計額	<u>△ 454,520,703</u>	679,944,754	
ウ 構築物	35,922,987,369		
減価償却累計額	<u>△ 10,760,899,949</u>	25,162,087,420	
エ 機械及び装置	5,009,490,705		
減価償却累計額	<u>△ 2,963,612,308</u>	2,045,878,397	
オ 車両運搬具	7,467,196		
減価償却累計額	<u>△ 6,214,556</u>	1,252,640	
カ 工具器具及び備品	23,872,084		
減価償却累計額	<u>△ 20,001,592</u>	3,870,492	
キ 建設仮勘定		<u>78,648,000</u>	
有形固定資産合計			28,393,266,903
(2) 無形固定資産			
ア ソフトウェア		<u>1,227,600</u>	
固定資産合計			28,394,494,503
2 流動資産			
(1) 現金預金		761,403,541	
(2) 未収金	59,537,098		
貸倒引当金	<u>△ 704,604</u>	58,832,494	
流動資産合計			<u>820,236,035</u>
資産合計			<u>29,214,730,538</u>

負債の部

円

円

円

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源
に充てるための企業債

8,396,003,823

イ その他の企業債

1,755,765,371

企業債合計

10,151,769,194

(2) 引当金

ア 退職給付引当金

56,314,283

固定負債合計

10,208,083,477

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源
に充てるための企業債

738,592,933

イ その他の企業債

176,152,460

企業債合計

914,745,393

(2) 未払金

272,710,370

(3) 引当金

ア 賞与引当金

5,209,267

(4) その他流動負債

2,880,000

流動負債合計

1,195,545,030

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 長期前受金

19,740,890,734

収益化累計額

△ 7,357,028,310

繰延収益合計

12,383,862,424

負債合計

23,787,490,931

資本の部

6 資本金

3,837,723,027

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 受贈財産評価額

5,342,284

イ 補助金

192,540,176

ウ 他会計補助金

1,404,521,082

エ 他会計負担金

76,376,441

資本剰余金合計

1,678,779,983

(2) 利益剰余金

ア 当年度未処理欠損金

89,263,403

剰余金合計

1,589,516,580

資本合計

5,427,239,607

負債資本合計

29,214,730,538

(4) 重要契約の要旨 (2,000万円以上)

契約年月日	契約金額	契約の内容	契約の相手
令和 7.10.30	円 36,520,000	下水補工第7号 今町終末処理場電気計装設備更新	トウヨウ(株)

(5) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
	円	円	円	円
財 務 省	3,032,854,932	175,000,000	196,365,393	3,011,489,539
地方公共団体金融機構	7,307,686,288	161,000,000	244,066,240	7,224,620,048
市 中 銀 行	718,841,048	160,900,000	49,336,048	830,405,000
計	11,059,382,268	496,900,000	489,767,681	11,066,514,587

(6) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

令和8年度下水道事業会計予算の概要

令和8年度 見附市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度見附市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 接続戸数		14,754 戸
(2) 年間有収水量		3,768,547 m ³
(3) 一日平均有収水量		10,325 m ³
(4) 主要な建設改良事業	汚水管渠建設工事	95,000 千円
	汚水管渠改築工事	0 千円
	污水处理場改築工事	0 千円
	雨水管渠建設工事	0 千円
	ポンプ場改築工事	0 千円
	農集管渠改築工事	19,541 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 下水道事業収益		2,115,000 千円
第1項 営業収益		1,015,211 千円
第2項 営業外収益		1,099,689 千円
第3項 特別利益		100 千円
	支	出
第1款 下水道事業費用		2,110,000 千円
第1項 営業費用		1,962,468 千円
第2項 営業外費用		147,332 千円
第3項 特別損失		100 千円
第4項 予備費		100 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額647,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,305千円、過年度分損益勘定留保資金136,755千円及び当年度分損益勘定留保資金503,940千円で補てんするものとする。)。

収 入	
第1款 資本的収入	887,000 千円
第1項 企業債	602,100 千円
第2項 他会計負担金	80,046 千円
第3項 国庫補助金	192,000 千円
第4項 負担金等	12,136 千円
第5項 長期貸付金償還金	718 千円
支 出	
第1款 資本的支出	1,534,000 千円
第1項 建設改良費	618,298 千円
第2項 企業債償還金	914,364 千円
第3項 長期貸付金	1,338 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限度額(千円)
排水設備設置資金融資による融資先に対する損失補償契約	令和9年度から 令和14年度まで	貸付金とその利息

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
建設改良事業	350,700	普通貸借 又は 証券発行	年5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、その融資条件により、銀行その他の資金については、その融通条件又は協定による。 ただし、企業財政等の都合により繰上償還し、又は償還年限を短縮し、若しくは低利債への借換えができるものとする。 その他事業の進捗状況等により前借りをすることができるものとする。
下水道事業債 (特別措置分)	25,200			
借換債 (特別措置分)	33,100			
資本費平準化債	193,100			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 各項に計上した予定額に過不足を生じた場合における、同一款内でこれらの経費の
各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額をこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 84,719 千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、
17,951千円である。

経営方針

1 基本計画

- (1) 収入増加・確保、経費削減・抑制を図り、下水道経営の健全化に努める。
- (2) 上下水道耐震化計画やストックマネジメント計画等に基づく耐震化や老朽化対策を推進する。
- (3) 住宅地等の浸水防止のため、緊急性、効率性等を検討し、効果的な雨水排水整備を進める。

見 附 市 病 院 事 業 業 務 状 況 報 告 書

(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

1. 事業の概況

令和7年度は、地域包括ケア病棟の円滑な運用により高い病床利用率を維持しています。外来診療については、診療科目が増えた事により患者数が増加し、外来収益が増加しました。また、介護老人保健施設ケアプラザ見附では、入所・通所・総合事業と利用者が増加したものの、居宅支援事業の対象者が減少したことにより、収益は前年同期と比較して若干減少しました。この様な状況のなか、地域のニーズに応え自治体病院の役割を果たすべく病院事業を運営しました。

当期の病院運営状況について、入院延患者数は15,891人、一日平均87.3人で病床利用率93.0%となり、前年同期と比較して延患者数は74人、一日平均で0.4人増加しました。外来延患者数は19,906人、一日平均165.9人で、前年同期と比較して延患者数は305人、一日平均で2.6人増加しました。

ケアプラザ見附の利用状況は入所延利用者数16,660人、一日平均91.5人で、前年同期と比較して延入所者数は514人、一日平均で2.8人増加しました。通所利用は、通所延利用者数4,169人、一日平均27.4人で、前年同期と比較して延通所者数は264人、一日平均で1.7人増加しました。

収益的収入については、医業収益が992,175千円(ケアプラザ見附の介護報酬収入と利用料収入および受託料収入248,534千円を含む)となり、前年同期と比較して35,632千円の増収となりました。増収となった主な要因は、効率的な病床管理による高い病床利用率の維持、外来患者数の増加によるものです。なお、医業外収益として一般会計から地方公営企業法上の繰出基準に基づく負担金286,368千円を繰入れました。

一方、収益的支出については、医業費用が1,444,365千円(ケアプラザ見附に係る事業費427,269千円を含む)となり、前年同期と比較して51,952千円増加しました。増加した主な要因は、職員の給与改定による給与費の増加、および減価償却費の増加によるものです。この結果、医業収益に対する医業費用の割合は、145.6%となり、前年同期と同率でした。また、医業外費用は38,156千円となり、前年同期より2,977千円減少しました。

資本的収入は、建物附属設備および医療機器整備等の建設改良費の財源として、企業債24,100千円、国県補助金1,353千円、一般会計からの繰入金として企業債元金償還に係る負担金41,400千円、基準外補助金73,700千円を受け入れました。

資本的支出は建物附属設備および医療機器整備等の建設改良費として27,972千円、企業債元金償還として123,553千円を支出しました。

2. 業 務

(1) 業務量

ア 病院

項 目			令和 7 年度	令和 6 年度	比 較	
					増 減	比 率
入 院	患者数	内 科 (人)	14, 788	14, 827	△ 39	99. 7%
		外 科 (人)	540	503	37	107. 4%
		整 形 外 科 (人)	501	487	14	102. 9%
		形 成 外 科 (人)	15	0	15	－
		皮 膚 科 (人)	47	0	47	－
		計 (人)	15, 891	15, 817	74	100. 5%
		一日平均 (人)	87. 3	86. 9	0. 4	100. 5%
	収 入	内 科 (円)	468, 306, 246	475, 701, 396	△ 7, 395, 150	98. 4%
		外 科 (円)	17, 322, 402	15, 614, 740	1, 707, 662	110. 9%
		整 形 外 科 (円)	15, 998, 696	15, 092, 537	906, 159	106. 0%
		形 成 外 科 (円)	602, 905	0	602, 905	－
		皮 膚 科 (円)	1, 571, 733	0	1, 571, 733	－
		計 (円)	503, 801, 982	506, 408, 673	△ 2, 606, 691	99. 5%
	外 来	患者数	内 科 (人)	12, 188	12, 689	△ 501
神 経 内 科 (人)			534	624	△ 90	85. 6%
小 児 科 (人)			392	495	△ 103	79. 2%
外 科 (人)			690	782	△ 92	88. 2%
整 形 外 科 (人)			4, 462	4, 397	65	101. 5%
形 成 外 科 (人)			546	327	219	167. 0%
脳 神 経 外 科 (人)			80	95	△ 15	84. 2%
皮 膚 科 (人)			819	0	819	－
放 射 線 科 (人)			195	192	3	101. 6%
計 (人)			19, 906	19, 601	305	101. 6%
一日平均 (人)			165. 9	163. 3	2. 6	101. 6%
収 入		内 科 (円)	127, 429, 408	132, 342, 282	△ 4, 912, 874	96. 3%
		神 経 内 科 (円)	2, 377, 503	2, 851, 389	△ 473, 886	83. 4%
		小 児 科 (円)	1, 827, 872	2, 315, 296	△ 487, 424	78. 9%
		外 科 (円)	8, 050, 678	8, 617, 091	△ 566, 413	93. 4%
		整 形 外 科 (円)	26, 715, 018	24, 150, 020	2, 564, 998	110. 6%
		形 成 外 科 (円)	3, 083, 145	2, 000, 494	1, 082, 651	154. 1%
		脳 神 経 外 科 (円)	764, 554	653, 177	111, 377	117. 1%
		皮 膚 科 (円)	2, 987, 697	0	2, 987, 697	－
		放 射 線 科 (円)	3, 537, 770	3, 265, 200	272, 570	108. 3%
計 (円)	176, 773, 645	176, 194, 949	578, 696	100. 3%		

イ 老人保健施設

項 目		令和 7 年度	令和 6 年度	比 較	
				増 減	比 率
利用者数	延 入 所 者 数 (人)	16,660	16,146	514	103.2%
	一 日 平 均 入 所 者 数 (人)	91.5	88.7	2.8	103.2%
	延 通 所 者 数 (人)	4,169	3,905	264	106.8%
	一 日 平 均 通 所 者 数 (人)	27.4	25.7	1.7	106.6%
	総 合 事 業 利 用 者 数 (人)	597	512	85.0	116.6%
	居 宅 支 援 件 数 (件)	634	699	△ 65	90.7%
収 入	入所者介護報酬収益 (円)	162,615,657	166,022,966	△ 3,407,309	97.9%
	通所者介護報酬収益 (円)	35,593,857	32,968,410	2,625,447	108.0%
	計 (円)	198,209,514	198,991,376	△ 781,862	99.6%
	入所者施設利用料 (円)	37,360,534	36,198,089	1,162,445	103.2%
	通所者施設利用料 (円)	3,223,557	3,107,742	115,815	103.7%
	計 (円)	40,584,091	39,305,831	1,278,260	103.3%
	総 合 事 業 介 護 報 酬 (円)	1,096,970	983,722	113,248	111.5%
	総 合 事 業 受 託 料 (円)	1,344,542	822,730	521,812	163.4%
	居 宅 支 援 介 護 報 酬 (円)	6,302,860	7,554,880	△ 1,252,020	83.4%
	居 宅 支 援 受 託 料 (円)	996,000	984,900	11,100	101.1%
	総 計 (円)	248,533,977	248,643,439	△ 109,462	100.0%

(2) 予算執行状況

(ア) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予算額			収入額	執行率	備 考
	現計予算額	地方公営 企業法第 24条第3項 の規定に よる支出 額に係る 財源充当 額	合計			
第1款 病院事業収益	円 2,574,000,000	円 0	円 2,574,000,000	円 2,394,974,663	% 93.0%	
第1項 医業収益	2,061,258,000		2,061,258,000	1,965,859,624	95.4%	
第2項 医業外収益	512,642,000		512,642,000	429,115,039	83.7%	
第3項 特別利益	100,000		100,000	0	0.0%	

支 出

区 分	予算額			支出額	執行率	備 考
	現計予算額	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	合計			
第1款 病院事業費用	円 2,675,200,000	円 0	円 2,675,200,000	円 2,512,444,811	% 93.9%	
第1項 医業費用	2,646,725,000	0	2,646,725,000	2,489,085,570	94.0%	
第2項 医業外費用	28,175,000	0	28,175,000	23,359,241	82.9%	
第3項 特別損失	200,000	0	200,000	0	0.0%	
第4項 予備費	100,000	0	100,000	0	0.0%	

(イ)資本的収入及び支出

収 入

区 分	予算額			収入額	執行率
	現計予算額	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	合計		
第1款 資本的収入	円 150,600,000	円 0	円 150,600,000	円 140,553,000	% 93.3%
第1項 企業債	29,700,000	0	29,700,000	24,100,000	81.1%
第2項 負担金	41,400,000	0	41,400,000	41,400,000	100.0%
第3項 補助金	79,500,000	0	79,500,000	75,053,000	94.4%

支 出

区 分	予算額			支出額	執行率
	現計予算額	地方公営企業 法第26条の規 定による繰越 額に係る財源 充当額	合計		
第1款 資本的支出	円 163,400,000	円 0	円 163,400,000	円 151,525,601	% 92.7%
第1項 建設改良費	39,787,000	0	39,787,000	27,972,725	70.3%
第2項 企業債償還金	123,613,000	0	123,613,000	123,552,876	100.0%

(3) 財 務 諸 表

(ア) 見附市病院事業損益計算書
(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

1 医 業 収 益	円	円	円
(1) 入 院 収 益	503,952,202		
(2) 外 来 収 益	178,519,797		
(3) その他医業収益	<u>309,703,045</u>	992,175,044	
2 医 業 費 用			
(1) 給 与 費	1,036,602,341		
(2) 材 料 費	82,675,733		
(3) 経 費	220,933,719		
(4) 減 価 償 却 費	101,133,067		
(5) 資 産 減 耗 費	721,621		
(6) 研 究 研 修 費	<u>2,297,978</u>	<u>1,444,364,459</u>	
医 業 損 失			452,189,415
3 医業外収益			
(1) 補 助 金	33,793,760		
(2) 負 担 金 交 付 金	286,568,000		
(3) 患者外給食収益	502,411		
(4) 長期前受金戻入	43,593,020		
(5) その他医業外収益	<u>10,342,350</u>	374,799,541	
4 医 業 外 費 用			
(1) 支払い利息及び 企業債取扱諸費	3,897,440		
(2) 患者外給食材料費	374,613		
(3) 雑 損 失	<u>33,884,266</u>	<u>38,156,319</u>	<u>336,643,222</u>
経 常 損 失			115,546,193
当期純損失			115,546,193
前期繰越未処理損失			1,561,589,557
当期末処理欠損金			<u><u>1,677,135,750</u></u>

(イ) 見附市病院事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

資 産 の 部

1 固 定 資 産	円	円	円	円
(1) 有 形 固 定 資 産				
ア 土 地		46,817,934		
イ 建 物	5,314,321,931			
減価償却累計額	<u>△ 3,359,394,415</u>	1,954,927,516		
ウ 構 築 物	333,132,039			
減価償却累計額	<u>△ 263,948,888</u>	69,183,151		
エ 器 械 備 品	938,270,606			
減価償却累計額	<u>△ 714,675,898</u>	223,594,708		
オ 車 輜	14,306,814			
減価償却累計額	<u>△ 13,006,863</u>	1,299,951		
カ リース資産	15,473,640			
減価償却累計額	<u>△ 14,699,958</u>	<u>773,682</u>		
有形固定資産合計			2,296,596,942	
(2) 無 形 固 定 資 産				
ア 電 話 加 入 権		1,647,464		
イ 施 設 利 用 権		<u>7,643,430</u>		
無形固定資産合計			<u>9,290,894</u>	
固 定 資 産 合 計				2,305,887,836
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			269,541,566	
(2) 未 収 金		533,539,958		
貸 倒 引 当 金		<u>△ 7,723,828</u>	525,816,130	
(3) 貯 蔵 品			9,899,679	
流 動 資 産 合 計				<u>805,257,375</u>
資 産 合 計				<u><u>3,111,145,211</u></u>

負債の部

3 固定負債	円	円	円
(1) 企業債 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,383,590,001	
(2) 引当金 退職給付引当金		<u>702,057,061</u>	
固定負債合計			2,085,647,062
4 流動負債			
(1) 企業債 建設改良費等の財源に充てるための企業債		118,402,176	
(2) 未払金		144,798,856	
(3) 預り金		1,566,626	
(4) 引当金 賞与引当金		<u>100,847,536</u>	
流動負債合計			365,615,194
5 繰延収益			
長期前受金		2,465,801,033	
収益化累計額		<u>△ 1,478,135,688</u>	
繰延収益合計			<u>987,665,345</u>
負債合計			<u><u>3,438,927,601</u></u>

資本の部

6 資本金			
(1) 資本金			1,252,244,963
7 剰余金			
(1) 資本金剰余金 ア 他会計補助金	73,700,000		
イ 他会計負担金	<u>23,408,397</u>		
資本剰余金合計		97,108,397	
(2) 欠損金 ア 前年度繰越欠損金	1,559,604,731		
イ 当年度未処理欠損金	<u>117,531,019</u>		
欠損金合計		<u>1,677,135,750</u>	
剰余金合計			<u>△ 1,580,027,353</u>
資本合計			<u>△ 327,782,390</u>
負債資本合計			<u><u>3,111,145,211</u></u>

(4) 企業債及び一時借入金の状況

(ア) 企業債

借入先	前期末残高	当期借入高	当期償還高	当期末残高
財務省	円 51,880,553	円 0	円 24,828,930	円 27,051,623
市中銀行	144,867,500	11,100,000	25,445,500	130,522,000
地方公共団体金融機構	1,343,090,497	13,000,000	11,671,943	1,344,418,554
計	1,539,838,550	24,100,000	61,946,373	1,501,992,177

(イ) 一時借入金

借入先	前期末残高	当期中における 借入残高最高額	当期末残高
水道事業会計	円 0	円 0	円 0

(5) その他経理に関する事項

該当事項なし

令和8年度病院事業会計予算の概要

令和8年度 見附市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度見附市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病院

①病床数		94 床		
②年間延患者数	入院	32,100 人	外来	40,500 人
③一日平均患者数	入院	88.0 人	外来	165.0 人

(2) 介護老人保健施設

①定員数	入所	97 人	通所	25 人
②年間延利用者数	入所	34,200 人	通所	9,000 人
③一日平均利用者数	入所	93.7 人	通所	24.9 人

(3) 主要な建設改良事業

ケアプラザ見附冷温水発生機更新事業	50,000 千円
ケアプラザ見附GHP更新事業	11,000 千円
器械備品整備事業	242,075 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 病院事業収益		2,499,000 千円
第1項 医業収益		2,039,236 千円
第2項 医業外収益		459,664 千円
第3項 特別利益		100 千円
支 出		
第1款 病院事業費用		2,693,000 千円
第1項 医業費用		2,642,379 千円
第2項 医業外費用		50,321 千円
第3項 特別損失		200 千円
第4項 予備費		100 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 資本的収入		420,000 千円
第1項 企業債		299,900 千円
第2項 負担金		60,100 千円
第3項 補助金		60,000 千円
支 出		
第1款 資本的支出		420,000 千円
第1項 建設改良費		301,597 千円
第2項 企業債償還金		118,403 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利 率	償還の方法
建物附属設備更新事業	62,000	普通貸借 又は 証券発行	年5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金及び地方公共団体金融機構資金については、その融通条件により、銀行その他の資金については、その融通条件又は協定による。ただし、企業財政等の都合により繰上償還し、又は償還年限を短縮し、若しくは低利債への借換えができるものとする。
器械備品整備事業	237,900			

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、300,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 各項に計上した予定額に過不足を生じた場合における同一款内で、これらの経費の各項内の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 1,795,917 千円
(2) 交際費 530 千円

(他会計からの補助金)

第9条 病院事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、60,000千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、150,000千円と定める。

経営方針

1 基本計画

- (1) 病院事業の健全経営を維持し、市内の診療所との病診連携の役割分担に努めること。
(2) 市の地域包括ケアシステムの中核施設としての役割を果たすこと。

2 基本方針

- (1) 私たちは、患者様の人権と尊厳を大切にします。
(2) 私たちは、安全で安心できる医療を提供します。
(3) 私たちは、日々研鑽し、働く喜びのある病院をつくります。
(4) 私たちは、効率的で健全な経営に努めます。